

# 家庭の省エネアンケート(普及啓発直後の調査)

Q1. 以下の項目についてお答えください。下線が引いてある項目は、あてはまるもの1つに○をつけてください。

記入日	平成 年 月 日	年代	10代以下 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上	性別	男 女
お住まい	三重県		市・区・町・村	住居形態	一戸建て 集合 その他( )
世帯人数	人	メール アドレス※			

※ 本調査の数ヵ月後に、Q2の各省エネ行動の継続状況を問う事後調査を計画しています。事後調査にご協力いただける場合は、事務局よりメールにてご連絡させていただきますので、メールアドレスをご記入ください。

Q2. あなたが行っている省エネ行動について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

家電など	省エネ行動	1	2	3	4
		既に実施している	これから実施したいと思う	これから実施するのは難しい	持っていない／該当しない
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する				
	2 物を詰め込みすぎないようにする				
照明器具	3 白熱電球をLED電球に取り替える				
テレビ	4 画面は明るすぎないように調節する				
エアコン	5 夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする				
	6 フィルターを月に1回、2回清掃する				
風呂 給湯器	7 間隔をあけずに入浴する				
	8 シャワー(温水)は流したままにしない				
電気ポット	9 長時間使用しないときは電源プラグを抜く				
電気カーペット	10 設定温度は低めにする				
石油ファン ヒーター	11 室温は20℃を目安にする				
	12 着るものなどで工夫して使用時間を減らす				
ガスファン ヒーター	13 室温は20℃を目安にする				
	14 寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする				
自動車	15 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む				
	16 走行中はできるだけ速度を一定に保つ				
	17 減速時は早めのアクセルオフ(エンジンブレーキを活用)				

↓  
「これから実施するのは難しい」に1つでも○がついたら、Q3に進んでください。

Q3. 「これから実施するのは難しい」を選んだ最も大きな理由としてあてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                     |                           |                    |
|---------------------|---------------------------|--------------------|
| 1. 環境を守れると思わないから    | 2. 社会の役に立つと思わないから         | 3. 責任を感じないから       |
| 4. やりがいや達成感が得られないから | 5. 社会から評価を受けられないと考えたから    | 6. 周囲がやっていないから     |
| 7. お金の節約にならないから     | 8. 設定などが面倒だから             | 9. 快適さが損なわれるのが嫌だから |
| 10. 特に理由はない         | 11. その他(具体的な理由をお書きください: ) |                    |

Q4. 今後、地球温暖化防止の取り組みを行って一行と思いますか。該当する番号に○をつけてください。

(すでに地球温暖化防止の活動に取り組まれている方は、より一層取り組んでいこうと思いますか。)

- ①取り組みたい      ②どちらかといえば取り組みたい      ③あまり取り組みたいと思わない      ④取り組みたいと思わない

自由記述欄・理由等

# 参考資料

## 家庭部門CO2排出削減の現状

2030 年 26%削減を実現するためには、家庭部門と業務部門でそれぞれ約4割、マイカー、社用車、宅配便などを含む運輸部門で約3割の温室効果ガスの大幅削減が必要であり、家庭・業務部門の4割削減のうち、電力の低炭素化により達成される約 25%相当分を除く、家庭部門の約14%・業務部門の約 15%相当分は国民の省エネ努力等により削減する必要があります。(環境省 地球温暖化対策のための国民運動実施計画より抜粋)

## 省エネ行動実施による想定される効果

表面の省エネ行動1～17を、一定の条件のもと実施すると、下表のとおり、家計や削減CO2に、およその効果があるとされています。なお、省エネ行動ごとのおよその家計のお得(円)やおよその削減CO2(kg)は、以下より引用しています。

- ・省エネ行動1～6「省エネ性能カタログ2017年夏版」(経済産業省 資源エネルギー庁)
- ・省エネ行動7～17「省エネ性能カタログ2016年冬版」(経済産業省 資源エネルギー庁)

省エネ行動	およその効果 (1台当たり・年間)		備 考
	家計のお得 (円)	削減CO2 (kg)	
1	1,670	36.2	周囲温度22℃で、設定温度を「強」から「中」にした場合
2	1,180	25.7	詰め込んだ場合と、半分にした場合との比較
3	2,430	52.8	54Wの白熱電球から9Wの電球形LEDランプに交換した場合
4	730	15.9	テレビ(32V型)の画面の輝度を最適(最大→中間)に調節した場合
5	2,250	49.0	夏:外気温度31℃の時、エアコン(2.2kw)の冷房設定温度を27℃から28℃にした場合(使用時間:9時間/日) 冬:外気温度6℃の時、エアコン(2.2kw)の暖房設定温度を21℃から20℃にした場合(使用時間:9時間/日)
6	860	18.8	フィルターが目詰まりしているエアコン(2.2kw)とフィルターを清掃した場合の比較
7	6,880	87.0	2時間放置により4.5℃低下した湯(200ℓ)を追い炊きする場合(1回/日)
8	3,300	29.0	45℃のお湯を流す時間を1分間短縮した場合
9	2,900	59.7	ポットに満タンの水2.2Lを入れ沸騰させ、1.2Lを使用後、6時間保温状態した場合と、プラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合の比較
10	5,020	103.4	3畳用で、設定温度を「強」から「中」にした場合(1日5時間使用)
11	1,070	25.4	石油ファンヒーターを外気温度6℃の時、暖房の設定温度を21℃から20℃にした場合(使用時間:9時間/日)
12	1,780	41.8	石油ファンヒーターを1日1時間運転、短縮した場合
13	1,470	18.6	ガスファンヒーターを外気温度6℃の時、暖房の設定温度を21℃から20℃にした場合(使用時間:9時間/日)
14	2,380	31.0	ガスファンヒーターを1日1時間運転、短縮した場合
15	13,620	194.0	■実際の運転では、車の流れにのり、交通法規を守って安全優先で走行しましょう。 ・「ふんわりアクセルスタート」は、最初の5秒で、時速20km程度が目安です。 ・各削減割合は、スマートドライブコンテストの操作別燃料消費削減割合による。 (年間削減量および年間走行距離、平均燃費は2,000cc 普通乗用車/ 年間10,000km 走行とし、平均燃費11.6km/L で計算。)
16	4,770	68.0	
17	2,950	42.0	

## 【本調査のお問合せ先(事務局)】

本調査に関するお問合せは、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット(全国地球温暖化防止活動推進センター)  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル4階  
担当:事業グループ 松本(t.matsumoto@jccca.org)

本調査は、地域的・全国的な傾向を集計・解析し、今後の家庭部門の地球温暖化対策に資することを目的に実施するものであり、個人を特定し公表するものではありません。本調査で収集するすべての個人情報の取り扱いにあたっては、個人情報の保護に関する法令を遵守し、先に掲げた目的のみに使用いたします。